

群青の風

発行所
長峰大
賀平市
関岐市
医療技術
同窓会
☎(0575)22-9401

子孫繁栄

同窓会長 増田 豊

四百万年の人類の歴史でその活動が地球を脅すほどに爆発的に広がったのは、僅か過去数十年のことである。この影響が、森林にも乾燥地帯にも、海にも河川にも、そして気象にまでも顕著になってきたのが、現在である。人間はとくに日本人は、人間社会が最高と考へ、不滅のものであると思いがちだ。地球は人類に約束された宇宙からのプレゼントであるかのごとく、地球を利用(破壊)することが当然であると思っている教育、知識体系に問題があり、地球

という摂理・秩序・宇宙の法則にのっとった教育が必要である。人はその内から生甲斐を持たなければならぬ。教育の現場では、もっと地球・宇宙社会をふまえた人間教育が必要であり、そのような教育の中で自然界と共存できる子孫繁栄が営まれていかなければならない。

会員の皆様も常日頃疑問をもち、その方面での活躍をされているとは思いますが、医療従事者としてこういった疑問を多分にもってみえる人も、いると思います。というの

人類だけがどうして長生きする必要があるのであるのか。

自然界の草花のように、芽を出し、花を咲かせ、実をつけそして枯れて一生を終えるといった具合のごとく自然な一生を過ごしてみたいものです。人は子の泣き顔を見て育ち、そして子の泣き顔をみて死んでいけたら幸せです。

病院の一室で死をむかえるより、自分の家で家族や友人にみとられ惜しまれ天にのぼりたいものです。

会員の皆様も職業上人の死に接する機会が一般人より多いと思いますが、人の死に対してあせてしまうことなく、人の死に接することが多いからこそ、人間らしく地球という生命体に迷惑をかけることなく一生を終えられる方法を考へてみましょう。

平成2年度事業報告

- (1) 機関紙(群青の風)第4号発行、同窓会名簿発行について編集委員会(15名)を設置。
- 九回の委員会開催を経て平成三年二月二日正会員二千六百九十七名へ発送も含め、賛助会員・準会員・下宿先等を併せ合計三千五百部を配布しました。
- 尚、編集作業については準会員村松恵(三M)、一R二(担任藤垣 小野木)全員の協力を得た。
- (2) 国家試験における昼食(副食)の配給について平成三年二月十三日 第九回定例役員会 準会員(三年生)に対し本会活動の啓蒙のために、事業計画に基づいて国家試験時におにぎり、パン、牛乳、ジュースなどを副食として配給することに決定した。
- (3) 卒業記念品の贈呈について平成三年二月十三日 第九回定例役員会 準会員(三年生)に対し本会活動の啓蒙のために卒業記念品(湯のみ茶碗)の贈呈を決定。第六回卒業式(R九十九名、M七十八名、計百七十七名、平二・三・十一)において贈呈した。
- (4) 官製ハガキの寄贈について平成二年六月一日母校の教育後援会より官製ハガキ二千七百枚の寄贈を受けた。本会は会員名簿の充実を図るため、機関紙(群青の風)に同封し通信用として活用した。
- (5) 大学祭への参加について平成二年十月六日 第七回定例委員会 母校の第五回大学祭(H二・十一・二十・二十一・四)への参加を決定。卒業アルバム、会員名簿などを出展。好評を博した。又、本会PRのため、同窓会より一万円を大学祭に助成した。
- (6) 新入生オリエンテーションへの協力について 母校では昭和六十一年度より、新入生オリエンテーションとして、一泊二日の新入生研修を行っており、その中の行事として卒業生座談会(平成元年度より開始)を行いたいとの要望があった。本会はこれを了承、協力した。
- (7) 同窓会会員名簿について平成三年二月二日全会員に発送した。
- (8) 会員同窓会への援助について クラス単位と同窓会に対する助成を引き続き行っている。本年度は四件あった。